

## 各機関における取り組み

### ■長野支社の取り組み

#### (1) エコロジー推進委員会における取り組み

長野支社では、JR東日本エコロジー推進活動の基本理念および基本方針に基づき、地域に密着した環境への取り組みの具体的な強化を図るため、「長野支社エコロジー推進委員会」を設置し、支社内におけるエコロジー活動の実態把握および活動の課題整理等を行っています。

#### (2) 各種設備修繕工事、撤去工事における産業廃棄物の削減

各種設備修繕工事、撤去工事において発生した混合金属くずは、従来は再利用がしづらかったことから産業廃棄物として処理をしていました。しかし、産業廃棄物の削減、また3Rを推進するため、社内マニュアル「現場売却品選別基準」の見直しをし、有価物として売却のできる混合金属くず<sup>※</sup>を売却することで、廃棄物の削減を実現しました。

※混合金属くず 鉄、銅、プラスチック等複数原料が混ざった発生品  
例) 各種リレー、鉄道信号機、踏切しゃ断機、各種電子機器等

#### (3) 「県下一斉ノーマイカー通勤ウィーク」への協力と参加

公共交通機関利用促進により地球温暖化防止対策へ寄与するため、長野県主催の「県下一斉ノーマイカー通勤ウィーク」への協力および参加を行いました。

同ウィーク期間中は、告知ポスターの駅頭への貼り出し、「ノーマイカーデー割引きっぷ」の利用期間を拡大し鉄道利用の促進を行ったほか、長野支社ビルに勤務する社員もCO<sub>2</sub>削減のための行動を積極的に行いました。

### 担当者の声



長野支社  
総務部  
企画室  
矢野 陽介

長野支社では、環境・エコロジー活動の重要性を認識し、「環境社会への取り組み」を支社一体となり推進しています。

社員一人ひとりのエコ意識の醸成のため活動情報等の発信を積極的に行い、各箇所でのエコ活動を活性化するとともに、1992年から毎年開催している「鉄道沿線からの森づくり」をはじめ、「県下一斉ノーマイカー通勤ウィーク」への協力・参加など、地域と一体となった環境への取り組みを今後も継続して進めていきます。

## ■新津車両製作所の取り組み

### (1) ISO14001を活用した環境推進体制

新津車両製作所では、1999年2月に環境マネジメントシステム「ISO14001」を取得し、環境目標「私たちは、グループ会社と一体となった生産活動を通じて地球環境保護活動に貢献します。」を掲げ取り組みを展開しています。また、①事業活動における環境負荷の把握と、負荷原因の「見える化」によるCO<sub>2</sub>削減②「法令遵守一覧表」を中心とした環境関係法規制等の見える化推進と、万全なコンプライアンス運営体制を構築③環境保全活動を通じて、環境マネジメントシステムの継続的改善を3本柱とし、省エネルギー、省資源推進、廃棄物削減、コンプライアンス・エコ推進・啓発活動の4つの分科会において、社員全員が日々の業務において環境を意識した生産活動に努めています。

### (2) 省エネルギー・地球温暖化防止対策の取り組み

2010年度は「省エネルギー・地球温暖化防止対策」の主な取り組みとして、①省エネキャンペーンの実施②ノー残業デーの徹底③貫流ボイラの燃料変更によるCO<sub>2</sub>削減④従業員詰所の人感センサー取り付けによる電気使用量の削減など、電力削減の取り組みを実施しました。

貫流ボイラの燃料変更では、従来燃料として使用していたA重油から都市ガスへ変更することで、年間のCO<sub>2</sub>排出量を10%以上削減できました。また、従業員詰所の人感センサーの取り付けによる電気使用量の削減では、ホールおよび室内の電気系統を細かく区分して自動で人がいる所だけ点灯する扱いとし、さらに使用電球についても従来の水銀灯から省エネルギータイプの蛍光灯へ切り替えを行うことで電力使用量の大幅な削減が達成されました。

さらに今年度新津車両製作所では、省エネキャンペーン等従来の取り組みを継続するとともに、①建屋の電灯点灯数の削減②手元照明(LED照明)の導入③自動機械の稼働時間の調整等により、ピーク電力の削減に取り組みました。電力削減に向けた節電トライアルを行いながら改善を実施し、社員全員が主体性を持って節電に取り組んでいます。

## 担当者の声



新津車両製作所  
総務課  
副課長  
梅津 信行

新津車両製作所では、1999年2月JR東日本ではじめて「ISO14001」を取得し、電力の削減、省資源、廃棄物の削減等に取り組んでいます。法令遵守一覧表をはじめとして、コンプライアンスにも力を入れています。「ISO14001」を活用し、社員一人ひとりが電力使用量の削減など、環境を意識した生産活動に取り組んでいきます。



貫流ボイラの燃料変更によるCO<sub>2</sub>削減